

1 令和6年度 第4回 宗像市国土利用計画等審議会議事録

2 令和6年12月11日(金)10時00分 市役所 本館2階 202会議室

委員出欠表(■出席 □欠席)			
■日高委員	□大方委員	■辰巳委員	■山口委員
■高見委員	■吉武順委員	■麻生委員	■長谷川委員
■平嶋委員(同行者森氏)	■堀江委員	■木村委員	■吉武委員
□西委員	■黒瀬委員		

3

4

5 次 第

6 1 開 会

7 2 第3次宗像市国土利用計画について

8 (1) 第3次宗像市国土利用計画(素案)…改定のポイント・修正案の確認

9 3 第3次宗像市都市計画マスタープランについて

10 (1) 都市計画マスタープラン(素案)…改定のポイント・修正案の確認

11 4 宗像市立地適正化計画について

12 (1) 宗像市立地適正化計画の見直しおよび防災指針(素案)…見直しのポイント・修正案の確認

13 5 その他

14 6 閉 会

15

16 事 前 配 布 資 料

17 参考資料 : 第3次国土利用計画(素案)

18 第3次都市計画マスタープラン(素案)

19 立地適正化計画(素案)

20

21 令和6年度 第4回宗像市国土利用計画等審議会

22

23 ○事務局

24 定刻になりましたので、只今から第4回国土利用計画等審議会を始めます。

25 本日出席は会場に11名、オンラインで黒瀬先生の合計12名が参加しておりますので、2分
26 の1以上の定足数に達しておりますことを皆様にご報告いたします。

27

28 《配布資料の確認》

29

30 それでは会に先立ちまして、本市都市再生部長の高崎よりご挨拶申し上げます。

31

32 皆様おはようございます。都市再生部長の高崎です。よろしくお願ひいたします。本日は年末の
33 大変ご多忙にも関わらず、本審議会にご出席賜り感謝申し上げます。本審議会は今年度で4回
34 目となります。これまで委員の皆様にはご多忙の中、計画の策定に大変貴重なご意見をいただき、
35 ご尽力をくださいましたことを重ねて感謝申し上げます。

36 ご審議いただいている3計画につきましては、年明け1月にパブリック・コメントを予定しており
37 ます。パブリック・コメントは、市民の皆様には計画案の内容を広く知っていただき、ご意見をいた
38 たく貴重な機会となります。今回、皆様にはパブリック・コメント前に最終的な確認を行っていただき、
39 忌憚のないご意見、ご提言を賜りたく存じます。本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

40

41 ○会長

42 それでは改めまして、事務局の報告のとおり、定足数に達しておりますので、ただいまから、令
43 和6年度第4回宗像市国土利用計画等審議会を開催いたします。

44 それでは、審議会を進めていきたいと思ひます。

45 今回の会議の目的の確認ですが、3計画について審議を行う重要な機会となります。国土利
46 用計画、都市計画マスタープラン、立地適正化計画は、市民生活の質の向上、持続可能な都市
47 の構築に不可欠なものです。今回の審議会では、これまで皆様からいただいたご意見を踏まえ、
48 修正を加えた計画案について、パブリック・コメント前の最終確認を行います。

49 それでは、次第に従って国土利用計画から説明をお願ひいたします。

50

51 ○事務局

52 国土利用計画について縦長の資料をご覧ください。通し番号1番、国土利用計画の21ページ
53 になりますが、ご覧いただけますでしょうか。21ページの下方に、ゼロカーボンシティの実現に向
54 けた具体的な施策を国土利用計画にも書いた方がいいのではというご意見がございましたので、
55 国土利用計画本編の21ページの下のところゼロカーボンシティの取組という文言を記載して
56 いるところでございます。第3回の国土審では、この国土利用計画について、1点のご指摘をいた

57 だきましたので、修正いたしました。それ以外につきましては、「てにをは」などを事務局の方で訂
58 正するところでございます。国土利用計画の修正点につきましては以上でございます。

59

60 ○会長

61 素案に関するご意見やご質問を伺ってまいりたいと思います。

62

63 《意見無し》

64

65 ご意見なしということによろしいでしょうか。また後でまとめてご意見あればお伺いしたいと思
66 いますので、次に進みます。

67 それでは続いて、次第3の都市計画マスタープランについて事務局説明をお願いいたします。

68

69 ○事務局

70 先ほどの縦長の A3 資料をもとに説明いたします。こちらは通し番号2番から5番までの合計4
71 点になります。本編31ページに、浸水想定区域に対象となる河川名を書いた方がいいのではと
72 のご意見をいただきましたので、追記しております。63 ページ、特に赤間駅になりますが JR の踏
73 切等で渋滞を解消できるのではとのご意見もございました。市の対応方針としては右側赤文字
74 部分ですが、複合的な施策により交通課題を解決するとの方向で計画を策定しております。その
75 ため、具体的に踏切解消に繋がるものでハード的なものを抽象的な書き方で計画を策定して
76 おります。同じくこの通し番号4番ですが、63ページ「③中心拠点の活性化に資する道路空間の強
77 化」という言葉の中に、赤間駅周辺の道路整備の意味を込めております。

78 また、66～67 ページで、新しくできる特別支援学校等のことで、教育大から3号線までのとこ
79 ろもぜひ計画として位置づけてほしいとのご意見もございましたので、今までは66ページの教大
80 のところから3号線のところは赤い矢印が入っていませんでしたが、矢印を入れ、3号線まで都内
81 中心軸を延ばしているというところで改正を行っております。

82 前回の国土審での意見に対しては、このように修正しております。以上でございます。

83

84 ○会長

85 ありがとうございます。都市計画マスタープランの素案に関して、ご意見等ございましたらお
86 願いたします。

87

88 《意見無し》

89

90 よろしいでしょうか。次の立地適正化計画についての説明をお願いいたします。

91

92 ○事務局

93 それでは先ほどの A3 の縦長資料の通し番号6番から13番まで1点ずつ確認ですが、通し番
94 号6番では立地適正化計画の本編の 72 ページ以降に宗像市の地図を載せております。

95 地図中の拠点について、形がバラバラだったため、中心拠点については、丸で表記していると
96 ころでございます。ただし、ユリックス部分は地形上楕円形にした方がいいのではとのことで、事
97 務局の方で修正しております。

98 また、76ページの交流交通軸につきましては、矢印が実際の道路や JR の線形と形が異なっ
99 ておりましたので、実体に合わせて矢印を修正いたしました。

100 次に、通し番号8番の106ページになります。居住誘導施策のために子育て世代などの No.1
101 6以降につきましては、以前は住マイおなかたさんだけが事業をしているという文章でした。しかし、
102 他の事業者もこの事業をしておりましたので、「住マイおなかたや関係事業者」という形で含み
103 を持たせております。通し番号9番の109ページの人口につきましては、後ほど補足で説明をいた
104 します。続いて通し番号10番の122ページ、こちらは都市計画マスタープランなどと同じですが、
105 河川名を入れた方が良くとのことで、出典の下方に釣川水系釣川・八並川・山田川を記載して
106 おります。次に、146ページをご覧ください。以前この地図は宗像市を5つのエリアで分けていた
107 ものになりますが、以前はこの北部エリア①の、玄海地区、北部エリア②の部分が、玄海東エリア
108 という、市でいうコミュニティの名前と似た名称をつけておりました。実際、玄海東エリアというの
109 は岬と池野あたりまでですが、この5つに分けると赤間地区や河東地区が入ってきて、なかなか
110 コミュニティの名称とリンクしないとの様々なご意見をいただきましたので、単純に北部エリア、北
111 部エリア②、下の南部エリア①②③との形で名称を変更しております。これにつきましては、概要
112 版の方にもエリアをつけることとしております。

113 そして、153ページにつきましては、表が載っております。様々な取組施策や実施主体の表にな
114 ります。以前、この表はエリアごとに書いておりましたが、施策ごとに整理をして 1 枚にまとめたも
115 のです。

116 あと、最後 A3資料の通し番号の13番ですが、近年の猛暑に対するとところで様々な事業者が
117 実施しているのではとご指摘がございました。災害としての猛暑とは、近年本当に重要なものと
118 考えております。しかし、脱炭素の施策として都市マスに位置付けておりますので、本計画のこち
119 らの立地適正化計画には記載をしていません。立地適正化計画については以上です。

120 人口に関し資料の通し番号9番の補足説明をしたいと思えます。

121 立地適正化計画にかかる居住に関する比較資料の補足説明をいたします。

122 まず、大きく変わったところは、居住誘導区域の見直しです。居住誘導区域については災害ハ
123 ザードがあるところは区域から除いた一方で、良好な住環境が備えられている一定の要件を備
124 えたところは、区域の中に追加いたしました。よって、誘導区域内の人口・面積が変わることになり
125 ます。それを踏まえた上で、赤枠部分と緑枠部分をご覧ください。赤枠部分右側は、令和17年度
126 の推計値でございます。赤枠の人口の減り具合と緑枠の人口の減り具合に著しい差があると思
127 じるかと思えます。まず、赤枠が現状の計画です。この現状の計画は、平成25年に公表された国
128 立社会保障・人口問題研究所が推計している将来推計人口でございます。約10年前の推計が

129 ベースになっていた数値です。この頃は、宗像市はより人口減少が進むという推計でした。そのため、
130 当時は17年の推計で今と比べると約5000人減少する見込みでした。そのため、この減少に
131 対して誘導区域内にどのようにして人口を誘導するかというところで、前回計画では誘導区域内
132 に転入や転居を促すことで居住の誘導を促すという目標値を設定してきました。

133 一方で、緑枠をご覧ください。令和5年公表の将来人口推計を使っていますが、福岡都市圏の
134 人口の伸び等の影響で、宗像は人口が横ばい状況となっております。将来も人口減少が緩やかな
135 傾向になり、1677人ほどの減少が見込まれる状況に変化しました。

136 このため、今ある計画と同様の誘導人口目標を加えてしまうと、そもそも基準になっている平成
137 22年度も目標値が超えてしまう状況になり、矛盾が生じる状況になりました。

138 まとめると、立地適正化計画策定当初より、人口減少が緩やかになっております。当初計画策
139 定時は令和17年度を推計し、平成25年、約10年前の公表データを用いております。しかし、今
140 回見直しの最新の人口推計は令和5年で人口減少幅が当初の想定よりも大分緩やかになる見
141 込みとなりました。そのため、目標値の見直しが必要になります。

142 現行計画と同様の目標値の算定方法を用いると、次期計画の目標値が現行計画を大幅に上
143 回ってしまいます。上回った状態をよしとするか、それとも他の計画との整合を取るかどうかを取
144 るか考えた時に、やはりこの計画との整合性が重要かと考え、前回計画の目標値は、策定中の国
145 土利用計画と都市計画マスタープランとの整合のため現状値を維持することを目標としました。

146 計画書をご覧ください。分かりますと思いますが、「目標値等は併記した方がいいのではない
147 か」とのご意見もいただいております。しかし、併記については以下の2つの理由により、勘違い
148 しやすい状況に陥るため併記せず、別欄で数値を表すこととしました。

149 理由は2つあります。将来人口推計軸の根拠となるデータの公表年が違うことです。もともとの
150 物差しの時期が違うため、併記しても勘違いや、同じデータではないということでも分かりにくくな
151 てしまうところがあります。また、物差しが違うところから計算しておりますので、目標値の算出過
152 程がどうしても異なってしまいます。こういったことにより併記は行わず、当初は併記を考えており
153 ましたが、別々に表す形で居住誘導区域の人口を表すこととさせていただいております。この109
154 ページについてh、分かりにくい表記になってしまって、要は物差し、国が示す人口予測が平成25
155 年と令和5年では大きく変わってしまったというところでした。

156 109ページ上の表は平成25年の人口推移を用いて計算した数字で、下の全く同じような表
157 で赤囲みがされている次期計画の目標値というのが令和5年ベースで推計した数値という形に
158 なります。この表記について市民の方に対して分かりやすいのかというのは、まだ答えが出てない
159 ところですが、皆さんのご意見をいただければと思います。

160
161 ○会長

162 まず、そもそも基準が変わったということと誘導区域自体も変わっているということですね。2つ
163 が重なっているから余計にわかりにくくなってしまいます。今の点を含めましてご意見・ご質問等
164 ございましたらお願いいたします。

165

166 ○長谷川委員

167 76、77 ページで、交流連携軸の図面の拠点を結ぶ路線と、77 ページの市内連携軸のところ
168 や、市内交通軸、これが微妙に違う。矢印が先まで伸びていたり、手前で止まっていたり、神湊の
169 ところは下に伸びていることや、余るところもある、何か意味合いがあるのか。都市内交通軸も福
170 津間との境の手前で止まっているところと先まで行っているところと、この違いは何だろうというの
171 が明確にあるならこれでいいと思いますが、折角なので、きちんと整合性を取られた方がいいの
172 かとおもいます。なお、書かれている意味合いは同じではないかと思ひます。

173

174 ○事務局

175 今、交流軸・連携軸の方は公共交通がないところは外しています。その他の交通軸、それから
176 都市の骨格構造の方は道路も含めた形でそういった軸があるところを残させていただく。バス路
177 線も廃止等々も出てきておりますので、そこを反映させたというところが今回のこの違いという形
178 で解説させていただいております。

179

180 ○長谷川委員

181 都市内交流軸で右も左も同じ書かれていて1つは福津の方まで突き抜けていますが、もう1つ
182 は手前で止まっている。バス路線の変更があるのか。

183

184 ○事務局

185 そこはバス路線があるかないかで表記をしています。同じように右の方の吉武から鞍手の方に
186 もそういった形で、前回の計画では確かここがありましたが、廃線になり外しました。ただ、交通軸
187 としては残るので、道路がありますので、それ以降はつけています。今ご意見いただいた村山田の
188 ところなどは現状に合わせて修正します。

189

190 ○山口委員

191 居住に関する施策指標の説明で、対象年度が違ってそもそもデータが違うのと、もう1つはエリ
192 アも変わったということで、元の数字でいこうという話で実際は動いているかと思いますが、新しく
193 エリアも変わったので、新しい方に見直すべきではないかと思ひます。最新のデータでやるべきではない
194 かと私は思ひます。

195

196 ○会長

197 最新のデータを使っていくということですね。目標の設定の仕方の考え方が、現状維持にする
198 ということですね。

199

200 ○事務局

201 そうですね。今までの $140 \times 20 = 2800$ ではなくて、そこに違和感が出てくるので最低限現状
202 維持をいきたいというところでございます。

203

204 ○会長

205 他にご質問ございませんでしょうか。

206

207 ○辰巳委員

208 今のところに関連し、109 ページ上の表は現行計画の数字になっています。これを新しい数字
209 にすることはできないのですか。今、これは基準値が 75,049 ですよ。

210 それを 76,332 の下の段に書き換えることはできないのですか。

211

212 ○事務局

213 おっしゃる通り、この表に何も注釈がないものですから分かりづらいかとは思いますが、そこで、少
214 し注釈を入れさせていただいて、前回はこれ、今回はこれという形をもう少し分かりやすくします。
215 私もこれを見た際、注釈がなく、よく分からないと思います。

216

217 ○辰巳委員

218 それであれば R17 の推計値の 74,042 がどこにも出てこないですよ。何もしないとその
219 74,042 になるというのがあり、そこでそれを現状維持にするという示しの方が良いと思います。

220

221 ○事務局

222 そうですね。同じようなこの項目で下も書いてという形ですね。ありがとうございます。その方向
223 で修正させていただきます。

224

225 ○辰巳委員

226 重要なのは、おそらく新しい方だと思います。ただ、新しい方を先に書いて、現行のものを参考と
227 いう形で後に書いた方がいいかもしれません。146 ページについて、エリアは四角にしなければ
228 ならないのかということが気になるのと、南部エリア②の下がはみ出しているところはなぜ入れな
229 かったのでしょうか。四角にするとどうしても重なりが出てしまいます。

230

231 ○事務局

232 検証というか、データとしては全域を入れている状態で今つくっている、凡例があって見えづら
233 いところはあるんですが、全体ではつくっている状況です。四角につきましては、アップした時に見や
234 すいのではというのもありました。

235

236 ○会長

237 他にございませんでしょうか。

238

239 ○黒瀬委員

240 居住誘導区域の設定と災害の関係について確認したいのですが、今回防災指針も加えてい
241 ただき、居住誘導区域の設定の方針についても整理いただいていると思います。それで、今書い
242 ている内容については特に異論はありませんが、今後、市街化区域が場合によっては区画整理
243 等で拡大する可能性もあると思いますが、今後新たに居住誘導区域や都市機能誘導区域の設
244 定の候補に何か上がってきた時に、どういう考え方でやるのかということも非常に重要と思っ
245 ています。これから市街化区域を拡大する時は、災害リスクの高いところは居住誘導区域に設定す
246 べきではないと思っているのですが、その辺りの考え方について、もし整理しているところがあれば
247 教えてください。

248

249 ○事務局

250 災害リスクがあるところは私どもも危ないということは重々承知しておりますが、宗像市の場合
251 はその河川の背後を中心としてまちも広がってできているところもございますので、我々としては
252 当然対策をした上でまちづくりをしていければという考えを持っているところでございます。

253

254 ○黒瀬委員

255 そうすると、災害リスクはあっても居住誘導区域に含める可能性があるということでしょうか。

256

257 ○事務局

258 そうですね。当然、対策はした上でということになってくると思いますが、必要であればそうい
259 ったところも取り込まなければならないのではと考えております。

260

261 ○黒瀬委員

262 これから区画整理等をやっていくときに災害リスクをどのように考えるかなど、他の自治体では
263 家屋倒壊等氾濫想定区域は居住誘導区域に入れないということも大きな流れになってきている
264 時に、宗像市がどう考えていらっしゃるのかを確認したかったので申し上げました。

265

266 ○事務局

267 災害リスクのところは当然入れない方向性はあるとしても、現実としては宗像市の場合は、例え
268 ば河岸浸食区域がすでに中心市街地にある状況もございますので、対策を施した上で活性化し
269 ていきたいと考えております。

270

271 ○黒瀬委員

272 分かりました。ありがとうございます。

273

274 ○会長

275 立地適正化計画についてはよろしいでしょうか。

276

277 ○事務局

278 皆様からご意見をいただきましたので、それを最終的に反映したものにつきまして、パブリック・
279 コメントの方に進ませていただくということになります。

280

281 ○会長

282 そのままパブリック・コメントに出るということでよろしいですかね。

283

284 ○事務局

285 はい。大体意見を各3計画とも修正した後、パブリックコメントにかけて1月10日から2月9
286 日までを予定しております。そのパブリックコメントが終わりましたら、またこの国土利用計画等審
287 議会でご意見・修正案を報告し、完成という形になります。以上でございます。

288

289 ○会長

290 ということですが、よろしいでしょうか。

291 それでは、今日いただいたご意見、立地適正化計画について、いただいたご意見をもとに修正
292 し、パブリック・コメントに来年進む予定ですので、またよろしく願いいたします。

293 それでは次第の「その他」になりますが、事務局からお願いいたします。

294

295 ○事務局

296 以上をもちましてパブリック・コメントの方に案を提案したいと思います。先ほど申した通り、1月
297 10日から2月9日までがパブリック・コメントの期間となっておりますので、2月26日に国土利用
298 計画等審議会を開催したいと思っておりますので、ぜひご出席のほどよろしくお願いいたします。

299

300 ○会長

301 それでは、これを持ちまして本日の国土利用計画等審議会を閉会いたします。ありがとうございました
302 いました